



例題 1

道にそって木が4mごとに10本植えてあります。1本目から10本目までは何mありますか。

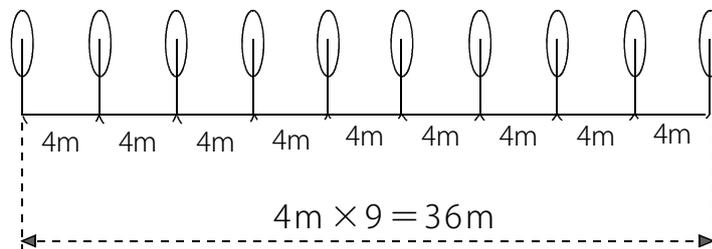
答え 36m

[例題 1 の解説]

あいだ 間の数に ちやくもく 着目しましょう。

木が10本なので $4\text{m} \times 10\text{本} = 40\text{m}$ とするのはまちがいです。

下の図のようになるので木が10本の場合、間の数は9個です。



りょう 両はしに木があって、木がまっすぐに なら 並んでいる場合

(間の数) = (木の本数) - 1 , (木の本数) = (間の数) + 1 となります。



例題2

でんちゅう電柱と電柱のあいだの道にそって、6mごとに木を植えると、木は全部で8本必要でした。

電柱から電柱までは何mありますか。

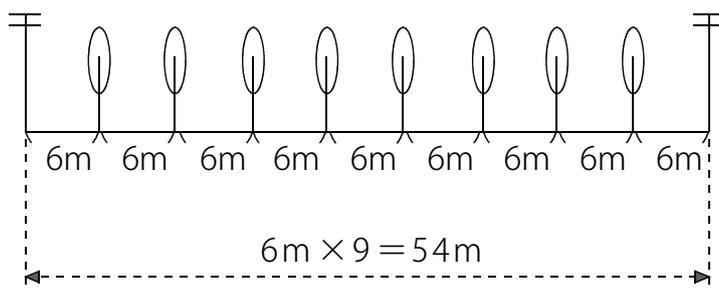
答え 54m

[例題2の解説]

右の図のようになります。

木の本数が8本の場合、間数は9個です。

$$6\text{m} \times 9 = 54\text{m}$$



りょう両はしに木がなくて、木がまっすぐに並んでいる場合

(間の数)=(木の本数)+1 となります。



例題3

次の問いに答えなさい。

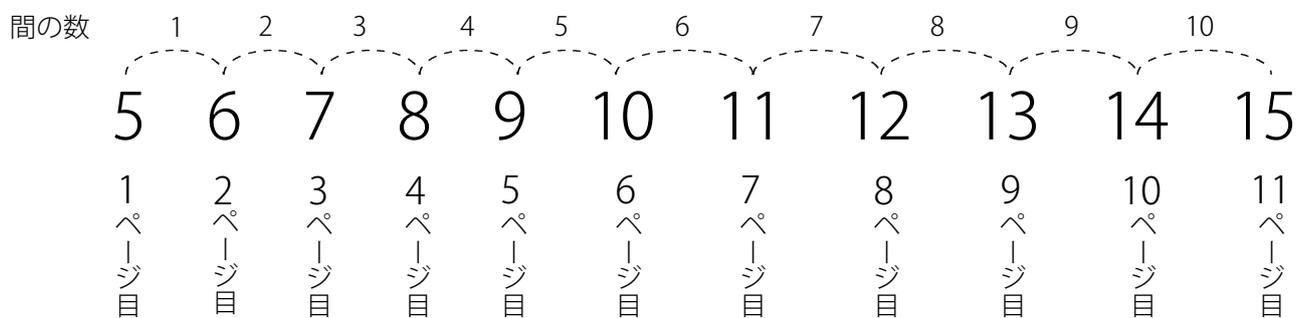
- (1) 5ページから15ページまで宿題^{しゅくだい}をやってきましたと言われました。宿題は何ページありますか。
- (2) 10ページから32ページまで宿題^{しゅくだい}をやってきましたと言われました。宿題は何ページありますか。

答え (1) 11ページ (2) 23ページ

[例題3の解説]

- (1) $15-5=10$ なので10ページとするのはまちがいです。

下の図のように書いて考えましょう。



間のはしは10個ですが、ページ数は11ページです。 $15-5+1=11$

両^{りょう}はしに木がある場合の (木の本数)=(間の数)+1 と同じ考え方です。

- (2) $32-10=22$ なので22ページとするのはまちがいです。

$$32-10+1=23$$



ポイントまとめ

- ・ 両^{りょう}はしに木があつて、木がまっすぐに並^{なら}んでいる場合 $(\text{間の数}) = (\text{木の本数}) - 1$, $(\text{木の本数}) = (\text{間の数}) + 1$
- ・ 両^{りょう}はしに木がなくて、木がまっすぐに並^{なら}んでいる場合 $(\text{間の数}) = (\text{木の本数}) + 1$